

平成24年7月の九州の豪雨災害等に踏まえた堤防の緊急点検の結果について

平成24年7月の九州の豪雨災害を踏まえ、仁淀川及び物部川直轄区間における堤防の緊急点検結果がとりまとめられましたので、お知らせします。

今回の被災を踏まえて、被災履歴、堤防詳細点検結果等、既存データを活用しつつ再確認

【仁淀川】

◆堤防の浸透に対する安全性

- ・旧河道跡等、パイピング(※1)により、堤防が崩壊する恐れがある箇所
→要対策延長約3km

◆流下能力の不足箇所(ボトルネック部)

- ・堤防高が局所的に低い等、当面の目標に対して流下能力が不足している箇所
→要対策延長約4km

※各要対策延長は、重複有り。

【物部川】

◆堤防の浸透に対する安全性

- ・過去の漏水実績箇所等、浸透により、堤防が崩壊する恐れのある箇所
→要対策延長約2km
- ・旧河道跡等、パイピング(※1)により、堤防が崩壊する恐れがある箇所
→要対策延長約2km

◆流下能力の不足箇所(ボトルネック部)

- ・堤防高が局所的に低い等、当面の目標に対して流下能力が不足している箇所
→要対策延長約2km

◆水衝部等の侵食に対する安全性

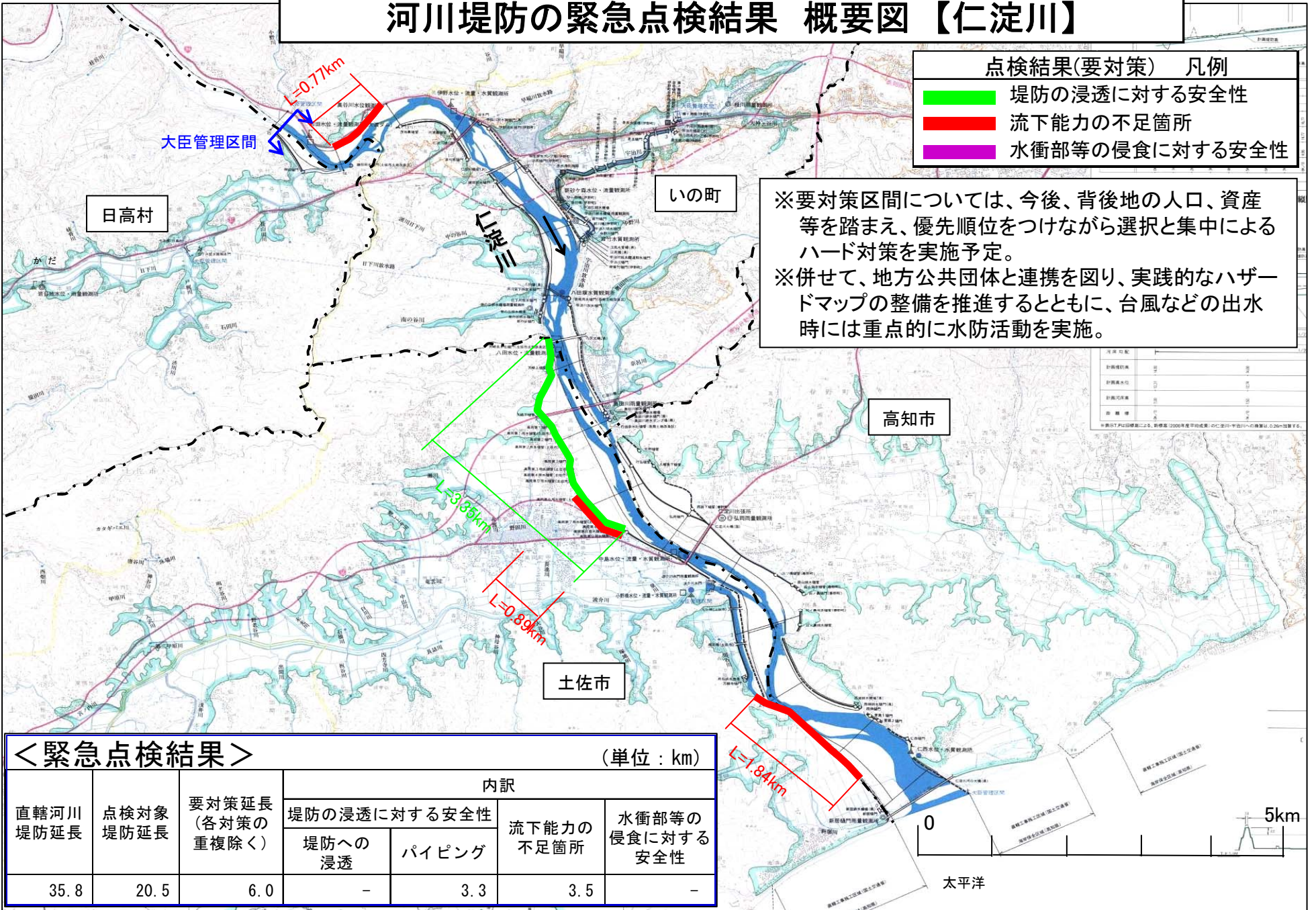
- ・河床が深掘れしている箇所や水衝部(※2)等、河岸侵食・護岸欠損の恐れがある箇所
→要対策延長約1km

※各要対策延長は、重複有り。

(※1)地盤内にパイプ状の水の通り道が出来ること。

(※2)洪水の流れが堤防に直接あたる箇所。

河川堤防の緊急点検結果 概要図【仁淀川】



点検結果(要対策) 凡例	
■	堤防の浸透に対する安全性
■	流下能力の不足箇所
■	水衝部等の侵食に対する安全性

※要対策区間については、今後、背後地の人口、資産等を踏まえ、優先順位をつけながら選択と集中によるハード対策を実施予定。
 ※併せて、地方公共団体と連携を図り、実践的なハザードマップの整備を推進するとともに、台風などの出水時には重点的に水防活動を実施。

項目	点検	結果
計画延長	35.8	35.8
点検対象延長	20.5	20.5
要対策延長	6.0	6.0
備考		

※要対策区間は国土交通省による調査結果(2009年度平均成果)を以て、仁淀川(平均)への換算値(0.25倍)換算する。

<緊急点検結果>

(単位: km)

直轄河川 堤防延長	点検対象 堤防延長	要対策延長 (各対策の 重複除く)	内訳			
			堤防の浸透に対する安全性	流下能力の 不足箇所	水衝部等の 侵食に対する 安全性	
35.8	20.5	6.0	堤防への 浸透	パイピング	3.5	-
			-	3.3		

太平洋

5km

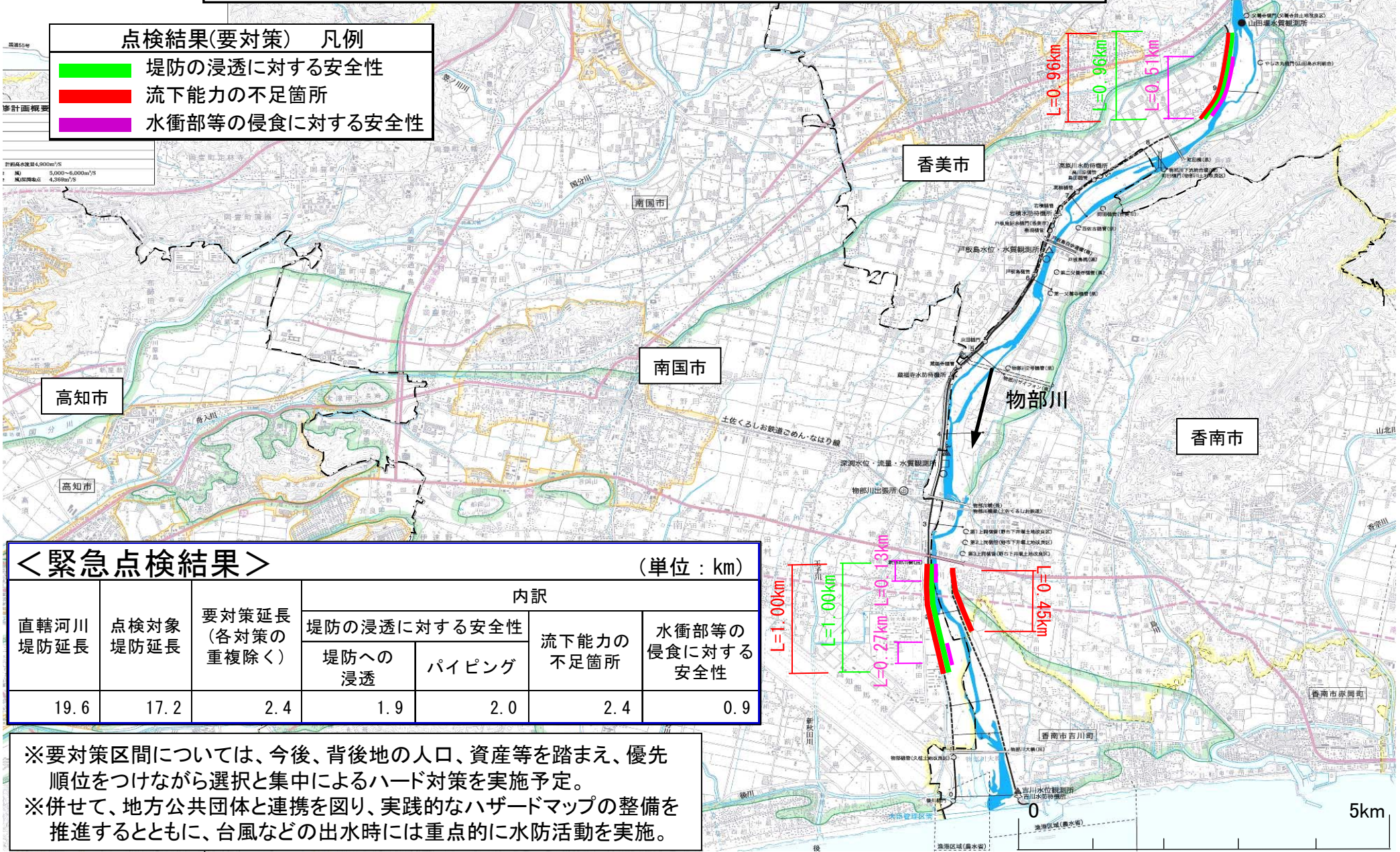
河川堤防の緊急点検結果 概要図【物部川】

大臣管理区間

点検結果(要対策) 凡例

- 堤防の浸透に対する安全性
- 流下能力の不足箇所
- 水衝部等の侵食に対する安全性

計測最高水位4,900m^{7/5}
 概 算 5,000~6,000m^{7/5}
 風速換算点 4,268m^{7/5}



＜緊急点検結果＞

(単位 : km)

直轄河川 堤防延長	点検対象 堤防延長	要対策延長 (各対策の 重複除く)	内訳			
			堤防の浸透に対する安全性 堤防への 浸透	パイピング	流下能力の 不足箇所	水衝部等の 侵食に対する 安全性
19.6	17.2	2.4	1.9	2.0	2.4	0.9

※要対策区間については、今後、背後地の人口、資産等を踏まえ、優先順位をつけながら選択と集中によるハード対策を実施予定。
 ※併せて、地方公共団体と連携を図り、実践的なハザードマップの整備を推進するとともに、台風などの出水時には重点的に水防活動を実施。